

中学生が描く、私たちのまちの未来

～夢創造、ナビゲーションサミットに参加～

県では、キャリア教育を重点施策として、「ふるさとへの愛着や誇り」を醸成し、「自分の将来を設計し、自立して生きていく力」を育成することをめざしたキャリア教育を推進しています。その一環として「夢創造、ナビゲーションサミット」が10月24日、県自治会館で開催されました。関川中学校の各学年委員と2年生が参加し、関川村長も加わり、中学生が描く村の未来について、グループワークが行われました。

グループワークでは、丸い大きな用紙を囲み、自分たちの意見を書き込みながら、村の良さを認識したうえで、課題を出し合い、これからの取り組みを話し合いました。「豊かな自然を活かして、農業高校を作る」「村の魅力を知ってもらうため、空き家を利用したお試し居住を行う」「インスタ映えするスポットをつくる」「学習に力を入れているところを活かして、小学1年生からの英語教育を行なう」「サルを飼育する」「カモシカの現れる村としてPRする」など、中学生ならではの柔軟な発想による意見が発表されました。自分たちが住む関川村の未来の姿を描き、村長に提案する貴重な時間を過ごしていました。



▷グループワークでのアイディアを発表



▷サミットを盛り上げた大したもん蛇の小大蛇

秋の味覚を堪能！ おもてなしの農林業まつり

10月29日、村の農林物産を集めた「関川村農林業まつり」が、ふれあいど〜むを会場に開催されました。

まつりでは、関川産の新鮮な野菜や山菜、きのこなど秋の味覚がずらり。雨が降る悪天候の中でしたが、昨年に引き続き、関川中学校の生徒たちが学校田で収穫したもち米販売やもち米のおもてなし料理でまつりを盛り上げ、約4千人の人出で賑わいました。毎年訪れている女性は「中学生のもち米を楽しみにしていたの。今年も10kg購入出来た」。

良かった」と笑顔で買い物を楽しんでいました。

長い行列で人気を集めたのが、つきたての杵つきもちやジャンボ鍋で作る豚汁のチャリティ配布。もちつきを体験した小学2年生の板越惺也くん(下関)は、「はじめて杵を持ち上げたけど、すごく重かった。つきたてはおいしかった」と話してくれました。そのほか、鮭つかみどり大会や福引き、景品ゲーム大会も行われ、訪れた皆さんは秋のイベントを満喫していました。



学校からのお知らせ

今月は関川小学校からの紹介

楽しかったよ！全校地域探検

10月16日(月)に、「全校地域探検」を行いました。今年度から峠シリーズと銘打ち、第1弾の鷹巣峠越えに挑戦しました。その後、吊り橋を渡って鷹の巣キャンプ場で昼食をとり、トンボ池、雲母を歩いて帰校しました。

峠の道は前日までの雨により、ぬかるんだ所もありましたが、16名のボランティアの方とともに、青空班ごとに励まし合って歩いたり、楽しくお弁当を食べたりと、仲良く活動する子どもたちの姿がたくさん見られました。

とても有意義な1日となりました。



お口の健康教室を行いました！

11月10日(金)に、3名の歯科衛生士さんと住民福祉課の川村保健師さんをお招きし、お口の健康教室を行いました。

毎年、1・3・5年生を対象としたこの活動は、歯をいつまでも大切にする意識を高め、正しいブラッシングを身に付けることをねらいとしています。

染め出し薬を使って、歯の磨き残しがたくさんあると分かった児童は、「今日からていねいに磨きます」と誓いを新たにしていました。



第67回 競書大会入選作品

第67回新潟県競書大会の入選作品が発表され、関川小4年の船山優心さん(勝蔵)の作品が準特選に選ばれました。受賞おめでとうございます。

- ◆主 催 新潟県書道教育研究会
- ◆応募数 県内の小・中学校、高校から
15,551点(小学校10,061点
中学校1,332点 高校4,158点)



準特選

関川中3年新野友梨さん 「税についての作文」表彰を受賞

11月15日、村上税務署並びに村上税務署管内税務団体連絡協議会の共催による納税表彰式が村上市民ふれあいセンターで行われました。中学生の「税についての作文」部門では、関川中学校の新野友梨さん(3年・南赤谷)が関川村長賞を受賞しました。

新野さんは、税金が身の回りのことや東日本大震災などの災害復興に役立っていて、自分たちにとって必要不可欠なものであることを知り、働いてくれている大人に感謝して過ごしたいと発表しました。

